



鳥獣花木図

西陣美術織 伊藤若冲展

西陣美術織で再現された伊藤若冲の復元作品の数々を一堂に展示

2023年

11月9日(木)~13日(月)

10:00~17:00

(初日は12:00から/最終日は16:00まで)

上越市市民プラザ 2階 市民ギャラリーC

上越市土橋1914-3 TEL:025-527-3611

＜主催＞ 西陣美術織 全国巡回展 実行委員会

京都市上京区一観音町428 (お問い合わせは) TEL 075-548-7505

入場無料



ITO JAKUCHU

西陣美術織

伊藤若冲展

西陣美術織で再現された
伊藤若冲の復元作品の数々を一堂に展示



西陣織は日本を代表する伝統工芸のひとつです。京都で織物作りが始まったのは5世紀頃です。その後、平安遷都とともに高級な織物作りが発展しました。西陣織が出来上がるまでの工程は非常に多段階に分かれ、それぞれに専門職があり、多くの職人の技術で成り立っています。



旭日鳳凰図



旭日雄鶏図

動植綵絵

奇想の画家 伊藤若冲の傑作と、伝統工芸の見事な調和



老松白鳳図(ろうしょうはくおうず)



雪中錦鶏図(せつちゅうきんけいず)



老松孔雀図(ろうしょうくよくばくず)



紅葉小禽図(こうようしょうきんず)



老松白鷄図(ろうしょうはつけいず)



薔薇小禽図(ばらしょうきんず)



芙蓉双鶏図(ふようそうけいず)



大鶏雌雄図(たいけいしゅうず)



梅花小禽図(ばいかしょうきんず)



梅花群鶴図(ばいかぐんかくず)



芦雁図(ろがんず)

伊藤若冲(1716-1800)は、18世紀の京都で活躍した画家です。繊細な描写技法によって動植物を美しく鮮やかに描く一方、即興的な筆遣いとユーモラスな表現による水墨画を数多く手掛けるなど、85歳で没するまで精力的に制作を続けました。

近年多くの人に愛され、日本美術の中で輝きを増す若冲の生涯と画業に迫ります。日本を代表する画家「伊藤若冲」と、世界に誇る伝統美「西陣美術織」の見事な調和をご覧ください。

